

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

PEM+CBDCA+Atezolizumab 療法

3 週毎 4 コース予定

疾患名 非小細胞肺癌

主治医 _____ **指導医** _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1
テセントリク(アテゾリズマブ)	1200 mg/body	↓
ペムトレキセド	500 mg/m ²	↓
カルボプラチン	AUC 5 or 6	↓

【注意】*インラインフィルター(0.2 または 0.22 μm)を通して投与すること。

*アテゾリズマブ初回投与時は 60 分かけて点滴静注、2 回目以降は忍容性が良好であれば、30 分投与でもよい。

*ペムトレキセド投与の 7 日以上前よりパンピタン末を 1 g 分 1 で内服開始。^{注1}

*ペムトレキセド投与の 7 日以上前より

メチコパール注 500 μg 2A(1 mg)を筋注(以後 9 週間毎)。^{注2}

注 1: 投与中止または終了する場合には、最終投与日から 22 日目まで可能な限り投与する。

注 2: 投与期間中及び投与中止後 22 日目まで 9 週毎(3 コース毎)に 1 回投与する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg)1C 内服

- | | |
|------------------------------|---------------|
| ① 生食 500 mL で血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② テセントリク 1200 mg + 生食 250 mL | 点滴静注(60~30 分) |

◎メインの生食でフラッシュ

- | | |
|--|------|
| ③ パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 4.95 mg(1.5 mL) + 生食 20 mL | 側管静注 |
|--|------|

◎メインの生食でフラッシュ

PEM+CBDCA+Atezolizumab 療法

④ ペムトレキセド + 生食 100 mL 点滴静注 10 分(600 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

⑤ カルボプラチン + 5%ブドウ糖液 250 mL 点滴静注 60 分(280 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day 2, 3 アプレピタントカプセル(80 mg) 1C 1×朝 内服

day 2 - 4 必要時 デキサメタゾン錠 4 mg 1×朝 内服

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月 日	/	/	/	/	/	/
テセントリク 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ペムトレキセド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確 認						